

事業所名

川東の里放課後等デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

8年

2月

25日

法人（事業所）理念	①人間の尊厳を大切にします。 ②健全育成援護の実現を図ります。 ③社会的自立生活を促進します。 ④自然と調和した労働を重視します。									
支援方針	利用する障害児が日常生活における基本動作を習得及び集団生活への適応訓練を行い、身体及び精神状況又はその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行います。									
営業時間	12時	0分	16時	0分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	学校～事業所	事業所～各御家庭
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	給食の提供～長期休み（春、夏、冬休み等）の昼食を提供します。いろいろな味を体験できるよう管理栄養士が栄養バランスを考えた献立で提供させて頂いています。必要に応じてバイタルチェックを行います。								
	運動・感覚	戸外活動～季節毎に公園や市内ウォーキング、外遊び、花見（桜やひまわり）、ドライブを行う等元気に活動できる環境を提供していきます。								
	認知・行動	創作活動・季節毎の行事～季節に合った創作（父の日、母の日、鯉のぼり、夏、秋まつり飾りつけ、ハロウィーン、クリスマス、お正月等）児童と職員と一緒に手作りで創作します。個別課題活動～個人のスキルにあった個別活動を提供します。決まった時間に集中しながら行います。指先の課題や認識の課題等、様々な活動を提供します。また個人的にやってみたい事があればサポートしながら提供、見守りを行います。								
	言語 コミュニケーション	基本的な日常生活の習得～挨拶、靴を下駄箱にしまう、出したものを片付ける等、本当に生活に係る基本的な行動を習得できるよう声掛け、支援していきます。								
	人間関係 社会性	様々な人との関わり～事業所内に関わらず、法人内の事業所や市内小中学校の児童を含め、行事やイベントを通してかかわりを持つ事で、いろんな人との関わりを学びます。消防署、警察署、神社、セブンイレブン等の社会見学を通じて、体験や経験を積み学びます								
家族支援	半期のモニタリング時に悩み事や支援に対する意見要望をお聞きし、個別支援計画に反映します。その他、随時悩み事や要望をお聞きしながら事業所に対応できる事案につき話し合いを持ちます。ご家庭には送迎時や連絡ノートで利用の様子をお伝えしながら困り事がないか確認しています。			移行支援		高等部2年に進学した頃からご家庭、本人に意思確認を行い個別支援計画に反映します。学校、各事業所との連携を取りながら、卒業スムーズに成人施設が利用できるよう調整を行うと共に、行政手続きの説明、手助けを行います。				
地域支援・地域連携	法人独自の行事で地域の方とかかわりを持ち、ノーマライゼーションの浸透に自助努力しております。自立支援協議会に参画し、地域の課題につき検討しながら、必要な情報を提供しています。			職員の質の向上		法人独自の研修（虐待防止、感染症防止等）に参加すると共に、行政が企画する研修に参加（ZOOM等）その他必要と思われる研修を年間研修計画を作成し、参加しております。資格取得のための研修、更新研修についても管理し、更新期間中に受講しております。				
主な行事等	法人での取り組み～生産フェア（生産物販売） 事業所の取り組み～夏まつり ハロウィーン クリスマス会 餅つき 豆まき ドライブ 季節ごとの取り組み等									